

市民と議会との語る会実施報告書

日 時	令和6年8月29日(木) 午後7時 ～ 午後8時
会 場	越前市議会 第3委員会室
出 席 議 員	大久保恵子委員長、城戸委員、安立委員、砂田委員、近藤委員、桶谷委員
参 加 者 (市 民)	越前市防災士の会 4名(男性:2名、女性:2名)
開会挨拶・ 司会・報告・記録	挨拶:大久保恵子委員長、河嶋副会長 司会:砂田委員 記録:桶谷委員
【1部】 事業の近況・問題提起	事業概要:平成27年6月に防災士の資格を持った有志で発足、当時の事務局は市が担当している。自助、共助、協働の原則のもと、会員のネットワークを構築し、防災士としての活動と技術のスキル向上を支援し、地域の防災力向上を目的とした自主的な団体である。現在157名が登録している。事務局は、市民プラザ内の「のっぽえちぜん」に置き、年に1回の総会、毎月1回の理事会を開催、会員の意見交換をしている。活動は、①資質向上の研修②自主防災組織リーダー育成の研修会のサポート③福井県防災士会主催の学校防災アドバイザー派遣事業④「いきいきふれあいのつどい」などの出前講座と大きく3つにわかれる。 課題:市内の防災士の資格者が428名いるが、防災士の会に加入しているのは、約1/3に過ぎないこと、会の情報連携(メール等)が未達成であること。研修等への連絡(通信費)に費用が嵩むこと、会員のスキルアップをすること、防災士が、町内や自治振興会で活躍する場面の創設することが課題である。
【2部】 意見交換	Q : 広報や研修に使う防災物(簡易トイレ、段ボールベッド)などは全て私物又、防災服も私物と聞いたが、本当か。 A : 県のメンバーなどからの情報をもとに、いつ派遣されてもよいように、個人として簡易トイレ、携帯トイレなどを携帯出来るようにしている。 Q : 各地区の自治振興会の中に防災部会があるが、その部会を防災士が仕切れるか。 A : 防災士が仕切れることは、自治振興会の中でギクシャクしてしまうので、そのようなことはできない。自治振興会で、地区内の防災士を把握して、やってほしい事を指示してもらおうと、活動し易い。 Q : 地区スポーツ協会の活動を地区が集金して協会に提供して活動をしてもらっているように、地区が集金したお金で地区の防災士の活動を組織して、地区での役割を創設してはどうか。

- | | |
|--|---|
| | <p>A : 越前市役所が地域防災力を上げる方針を掲げて、その中に防災士の活動を位置付けることが先で、こちらから働きかけるとマイナスになる。</p> <p>Q : 地域防災力を上げるために、防災士の役割を自治振興会や広域避難所の運営の中に位置づけ、役割を明確にする。その為には、防災士のスキルアップする講座を運営できる予算を市などから支援を受ける方法を作ってはどうか。</p> <p>A : スキルのある人を育てることも当然だし、防災リーダー研修もすごく大事である。スキルアップは必要で、防災士の会としても、スキルアップの仕組みを作り、広く意識付けも必要となる。</p> |
|--|---|

令和6年10月25日

越前市議会議長 様

総務委員会 委員長 大久保 恵子